

【平成21年 3月 定例会（第1回）】

開会にあたり、一言、ごあいさつを申し上げます。

本日は、平成21年3月市川三郷町議会第1回定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、公私ともご多用の中、全員のご出席を賜り、ここに定例会が開会できますことに厚くお礼を申し上げます。

また、平素、町行政の推進にご尽力、ご協力をいただいておりますことに、併せて感謝を申し上げる次第でございます。

定額給付金につきましては、4日午後の衆議院本会議で再可決をされ、成立いたしました。給付金補助申請等、事務手続きに万全を期してまいりたいと思っております。また、これにかかわる町の予算を今議会に上程しておりますので、議決後、ただちに申請書の発送を行ないますので、交付決定して、実際に支給されるのは、4月中旬と考えております。

さて、日本経済は1973年、昭和48年の第一次石油危機以来、35年ぶりの大幅な落ち込みは、国内総生産GDPで年率換算マイナス12.7%となり、さらに落ち込み、悪化するのではと予測されるところでございます。

山梨県の1月の有効求人倍率は0.59倍に悪化し、過去最低を更新しております。こうした背景もあって、地方自治体を取り巻く行財政環境は、さらに厳しさを増しております。

ドイツの哲学者ヘイゲルの言葉に、ミネルバのフクロウはたそがれ時に旅立つというのがあります。ミネルバは知恵の神、フクロウはその使いとされております。新しい時代の知恵は、現下のような停滞期に生まれるという教えであり、改革のチャンスととらえ、このときこそ町の未来をしっかりと見据え、知恵と創意と工夫によって、山積する課題を一つひとつ解決することにより、町民の皆さまが住んでいてよかったと実感できる町を実現することにあります。

平成21年度予算編成に当たっては、その方針として、事務事業をさらに見直し、経常経費の削減に努め、新しいまちづくりを推進していく。このことを職員一人ひとりが改めて認識し、限られた財源で最大の効果が得られるよう、真心を尽くし、一丸となって取り組んでまいります。

平成21年度一般会計および16特別会計当初予算歳入歳出予算の総額は137億169万6千円、対前年度比4,186万7千円の減、率でマイナス0.3%であります。

一般会計の歳入歳出予算の総額は85億9,527万9千円で、対前年度比5,248万8千円、率で0.61%増であります。

16特別会計歳入歳出予算の総額は51億641万7千円で、対前年度比9,435万5千円の減、率でマイナス1.81%であります。

一般会計の新規といたしまして、子育て支援医療費助成金の中学3年生終了までの窓口無料化の拡大、財政健全化計画における平成21年度の公債費繰上げ償還は、厳しい財源

の中、3億6,389万7千円、借り換え8,900万4千円、合計4億5,290万1千円でございます。

参考までに、これまでの繰上げ償還は、平成19年度4億50万9千円、平成20年度4億2,854万4千円、平成21年度3億6,389万6千円と、この3年間で11億9,294万9千円を償還したことになります。このことにより、実質公債比率は繰上げ償還によって、平成18年度18.3%と、非常に悪化したわけでございますが、平成19年度17.6%、平成20年度16.4%、平成21年度は15.4%と、推計で大きく改善できることとなります。

教育関係では、学校耐震化事業として、第2回臨時会でご議決いただきました、上野小学校および大塚小学校屋内運動場の耐震補強に加え、新規として大塚小学校トイレ棟、これは1階、2階、3階でございますが、耐震補強設計業務委託、六郷中学校特別教室改築工事設計業務委託。市川中学校スクールバス購入、特別支援教育支援員を1名増員し、4名配置体制といたします。小学校外国語指導助手ALTの配置、現在の4名と合わせて5名体制となります。また、外国籍児童生徒保護者への通訳支援、小中学校給食費値上げに伴う、値上げ分の公費負担、これは小学校で1食あたりおおむね10円、中学校で1食あたり15円でございますが、これを値上げ分の公費負担といたします。

また、継続では町単教員8名の配置、司書は県も含めて全校配置、スクールガードリーの配置、英語検定料補助、国際交流協会運営補助、その他給食配送車の購入、ブックスタート事業などがございます。

本日、ご提案申し上げる案件は、条例制定2件、条例改正7件、規約変更1件、補正予算14件、当初予算19件、道路路線認定1件、合わせて44案件でございます。

それでは、提案理由の説明を申し上げます。(以下説明のため省略)